



Rotary 国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992)

郡山ロータリークラブ

WEEKLY REPORT 2023-2024

第18回

2023
11.16

世界に希望を生み出そう

会長挨拶

菅野秀士 会長



皆様、こんにちは。11月はロータリー財団月間です。本日ロータリー財団国際親善奨学生の吉田昂城君の卓話と演奏を頂きます。お楽しみ下さい。ロータリー財団へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。皆さん、ちょっとだけ良いことをしてみませんか。

11日と12日に国際ロータリー第2530地区の地区大会に25名で福島のパルセいいざかに行って参りました。幹事と私は前日から、皆さんは12日丸一日参加頂きまして、本当にありがとうございました。佐藤パスト会長と橋本勝直前幹事、そして皆様のお陰で当クラブがRIより国際ロータリー賞を頂きました。栄えある賞を代表で受けて参りました。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会と国際奉仕委員会の共同で「留学生は先生」という授業を、11月27日と12月4日に金透小学校にて授業を執り行いたいということが先日決まりました。米山留學生が先生として授業されます。この事業に関しまして、金透小学校150周年事業として学校・同窓会にご尽力をいただいております。お骨折りを頂きました新城義雄金透小学校同窓会会長に、心より御礼を申し上げます。

地区大会表彰(個人)

- ポール・ハリス・フェロー
初瀬照夫君、菅野秀士君
- 米山功労者(マルチプル)
石黒秀司君、菅野秀士君、
湯浅大郎君
- 新米山功労者
高橋裕一君、橋本 勝君



- 永年在籍40年
太田健三君
- 感謝状(2022-23年度)
中央分区ガバナー補佐
初瀬照夫君



地区大会表彰(クラブ)

- 米山奨学会表彰
寄付額上位10クラブ 第7位
- 新会員入会者上位10クラブ 第1位
- 会員数純増上位3クラブ 第2位
- 会員増強優秀クラブ 第2位



幹事報告

中原喜範 幹事

来週11月23日(木)は勤労感謝の日になりますので、休会になります。



親睦活動委員会報告

山口松之進 委員長

今週土曜日に矢吹カントリーゴルフクラブに於きまして、第2回親睦ゴルフコンペが開催されます。9時集合です。お時間と場所を間違えないようにお願いします。12月14日6時からクリスマス家族会をアネックスで開催させていただきます。今年も大抽選会を開催したいと思いますので、景品のご協賛をお願い致します。



雑誌委員会報告

中原喜範 幹事

- 「ロータリーの友」11月号を紹介いたします。
- 横組 7頁 チャレンジ!
グローバル補助金プロジェクト
- 14頁 ルワンダの、歴史的に疎外された村に笑顔を
- 28頁 米山から世界の町へ チェコ・オストラバ
- 39頁 ローターアクトクラブで世界初!
グローバル補助金承認
- 縦組 9頁 この人 訪ねて
- 17頁 友愛の広場 バナーのデザインから見えること



一般財団法人 太田綜合病院

会長 太田 健三

〒963-8022 郡山市西ノ内 2-6-18
TEL 024-925-0088 FAX 024-931-1155一般財団法人 太田熱海病院
太田綜合病院附属

リハビリテーション科部長 太田 宏

〒963-1383 郡山市熱海町熱海 5-240
TEL 024-984-0088 FAX 024-984-3174

ニコニコBOX委員会報告

湯浅大郎 委員長

○ロータリー財団奨学生吉田昂城様を歓迎致します。ピアノ演奏を楽しみにしています。



菅野秀士君

○地区大会への参加お疲れ様でした。吉田昂城君の演奏と卓話、楽しみです。宜しくをお願いします。

中原喜範君

○ロータリー財団奨学生吉田さん、大歓迎します。前田泰彦君

平松敏郎君

○地区大会、お世話様でした。

○結婚記念でお花を頂き、妻が喜んでおりました。ありがとうございます。

平栗俊昭君

○地区大会に参加できなくて残念でした。今年の打ち上げはどこでやったのでしょうか？ロータリー財団奨学生吉田昂城君のピアノ演奏、楽しみにしています。

湯浅大郎君

プログラム紹介

宮川雄次 委員長

本日はゲスト卓話として吉田昂城様をお招きしております。1995年双葉郡浪江の生まれ



で、3歳からピアノを始め、現在27歳です。2012年より17歳のロータリークラブ下の支援を受けましてオーストリアリンツのアントン・ブルックナー音楽大学へ留学。ウィーン国立音学大学コンサートピアノ科を卒業し、現在はウィーン・リンツ・ゲラス・大阪・東京・福島など、国内外で演奏活動を行っています。また、ピアノソロだけでなく室内楽・伴奏などの活動も精力的に行っています。ベートーヴェンを始めとした古典派のレパートリーを幅広く研究されています。皆様、どうぞお楽しみ下さい。

ゲスト卓話

「地域活性化と音楽活動について」

ロータリー財団国際親善奨学生 吉田昂城氏

私は今、福島県と東京・大阪などでコンサート活動や音楽系の企画や指導も行っています。そもそもクラシック音楽をどう風にかけていますか？難しい、固い、貴族的、高級、そういうイメージだと思いますが、実際その当時のクラシック音楽は、オペラであれば総合芸術であって、今で言う映画みたいなものです。時代が進むにつれて日本を含めアジアでは、新しいものを取り入れるという考えがヨーロッパよりは強いと考え



ていて、クラシック音楽の発展という意味では日本は衰退していると感じています。その一番の理由は「クラシック音楽が分からない」からだと思います。当時流行ったものというのは



面白いから流行るのであって、それが300~400年も現代まで継がれているというのは、その音楽が魅力があり、かつヨーロッパの人々が理解しているからだだと思います。そこで、私はコンサート活動の時に、いつも20分ぐらい曲について説明したり、音楽はこういう風に聞くといいよとか、そういう音楽を理解して聞き方を紹介させて頂いてから演奏しています。

私が留学していたウィーンは、たくさんの音楽家を生んだ町です。ベートーヴェン・モーツァルト・シューベルトなどは聞き馴染みのある作曲家達だと思います。ベートーヴェンはどちらかというと少しナイーブで凄く人間的な人で心も弱く、恋をしてはいけない女の子に恋をしてすぐ失恋をしていたような人です。今のポピュラーミュージックの失恋ソングと変わらないのです。今日弾かせて頂く「ベートーヴェン悲壮ソナタ」の2楽章ですが、そちらをベートーヴェンは明るい長調で書いているんですね。明るい長調で悲壮という題名で書いているのですが、ベートーヴェンがここで表したかったものというのは、人間は本当に悲しい時や絶望の淵に立った時は、多分暗いことってあまり考えないよという風にウィーンの先生はおっしゃってました。初めは勿論悲しいとか怒りや嘆きが変わったりすると思うんですけど、その更に奥深くというのは私はもう現実逃避だと思うんですよ。現実逃避をしている時は「あの頃は良かった、楽しかった」と、現状を考えずに昔の良かった時のことを考えて理性を保とうとするところが人間にはあると思うので、ベートーヴェンはその感情を悲壮ソナタに込めて書いたのではないかと、私は思います。人間の最終的な心理の先にある非現実的なものは、美化された思い出などで、やはり現実的ではない非現実的な表現というところに、私は音楽の魅力なども詰まっていると考えています。そこがやはりポピュラーソングとの大きな違いだと思います。それを言葉なしで音だけで伝えようと試行錯誤されて、凄く感情の込められた作品ですので、是非本日は楽しかった頃の思い出を思い出しながら、しかし悲しい気持ちで聞いて頂ければと思います。

出席報告

酒井良胤 委員長

総員 / 109名 出席 / 55名 欠席 / 54名
出席率 / 50.46% 前回修正率 / 100%
他クラブ出席 / 3名



国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長：菅野 秀士 幹事：中原 喜範
例会場：郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111
例会日：木曜日
事務所：〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678
郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから
<http://k-rc.main.jp/>



次回 第20回例会
令和5年12月7日(木)
ゲスト卓話

「ミャンマーってどんな国？ミャンマーと日本の違いについて」
米山奨学生 スミヤツ、モン氏(ミャンマー)世話クラブ 郡山北RC

編集責任者：中原 喜範
副委員長：鈴木 基修

編集：クラブ会報委員会 委員長：石井 祐一
委員：伊藤 清郷・伊藤 基文・前田 祐希



FSC® 森林認証紙使用